

単元指導事例

2 わたしたちの市のようす

1 単元名（小単元名）

「市のようす」

2 単元の目標

・市の様子は場所によって違いがあることやそれぞれの場所の特色を理解し、自分たちが日々生活している市に対する誇りや愛情をもつ。

・市の特色ある地形などの様子や、主な公共施設の場所と働きを、観察・調査したり絵地図や白地図などにまとめたりして調べ、市の場所による様子の違いや特色を具体的に考える。

3 単元の指導計画（11時間扱い）

次	時間	主な学習活動	指導上の留意点 副読本の活用例	副読本 ページ
1	1	バスや電車の通る所 ・これからの学習方法を知る。	3年生から始まる社会科では、まちのいろいろな人に会ったり、話を聞いたりして学習していくことを説明する。 「自分たちのまちはどんな所か」写真で見てみる。	表紙 見開き地図 P 1 . 2
	1	学校の周りとは様子が違う所 ・バスや電車が市内のどんな所を通っているかを、身近な駅の様子を観察したり、運転手や駅員、バスや電車の利用者から聞き取り調査をしたりして調べ、カードにまとめる。	バス、電車の路線とその沿線の様子について調べるようにし、市全体の様子に関心をもてるようにする。 電車の沿線の様子を地図で見てみる。	P 1 . 2 P 1 8 地図
2	1	探検したい地域を決める。 ・駅前調べの結果を発表し合い、市全体のおおまかな様子をつかむとともに、それを詳しく調べる意欲を高める。	自分たちの住んでいる所との違いなどを質問し、その違う理由について考える。自分の住んでいるところの他に市にはどんな場所があるのか、調べてみたい場所を考える。	P 1 5 ~ P 2 8
	4 1	市の特色ある場所の様子を調べる。 ・自分たちが立てた計画に沿って、市の特色ある場所の様子を詳しく調べ、表や絵図にまとめる。 全体で発表する。 ・個人やグループごとに、調べた場所の様子や特色を発表するとともに、比べる相手を決め、それぞれの違いを話し合い、ノートなどにまとめる。	白地図を使って、色を塗ったり、記号を書き込んだりするようにする。 「田や畑が多いところはどこだろう」「建物が集まっているにぎやかなところ」「工場の多いところ」「緑の多いところ」 学校のまわりの様子と対比させた表にまとめる。	P 2 6 ~ P 2 8

3	2	<p>ガイドマップをつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の地形や交通網，土地利用の特色，自分が発見したふしぎやひみつなどを載せたガイドマップをつくる。 	<p>ガイドマップの取り組み方を考える。</p> <p>地図と土地利用の特色を照らし合わせながら，市の様子の特徴をつかむ。</p>	
	1	まとめ		